

# ふくろう新聞

11月21日  
(土)

神戸長田ふくろうの杜開所式  
施設建設推進委員会と共催  
見学会も20日21日



▲新施設の引き渡し 左から業務取締役社長藤本義博様、谷口現場監督様、米谷良章設計工房様、神戸長田ふくろうの杜眞木施設長

▶大矢理事長より「感染予防や酷暑の中、無事に引き渡しを受けたこの建物に、共に生きること命を吹き込んで参りたい」とお礼の言葉を述べました。

新施設の引き渡しを受けていよいよ開所式に向けて職員一同、役割を決めて始動です。沢山の人の支援があつてようやく、この日が迎えられると思います。沢山の人の達と共に喜びを分かち合いたいと思います。

神戸の拠点として今後、より一層、聴覚障害者にとつての、また、社会の福祉向上の一翼を担えるように決意を新たにしております。職員一同、身の引き締まる思いで、それぞれの役割を全うできるように準備を進めていきます。

新たな思いで、ご支援いただいた皆様の附託を受け、聴覚障害者を始め地域に貢献できるように「社福」の理念を忘れず、日々、研鑽してまいります。ご指導ご支援をお願いします。

(神戸ふくろうの杜施設長 眞木崇江)

<発行>  
特別養護老人ホーム  
澁路ふくろうの郷  
広報委員会  
洲本市中川原町中川原28番地1  
TEL:0799-25-8550  
FAX:0799-25-8551  
ホームページ  
<http://hyoufuku.main.jp/fukuro/>

高知県の手話サークルの上村様から新米30kg。ふくろうまつりの当日、このおいしい焼肉丼をいただきました。スイカや茄子など季節の野菜を毎年お届けくださっています。また、平岡農園様から今年も甘いミカンをありがとうございます。



## 心のこもった ふくろうまつり



▲狭間施設長より表彰状を受け取る  
花ユニットの藤本紀代さん

毎年恒例のふくろうふれ愛まつりでは、ご家族様・地域の方々をはじめ、県下、県外の関係団体の方々をお招きしての開催を今年にはコロナ禍の状況での開催は難しく、やむなく延期させていただきました。入居者と職員の手作り満載の企画で10月25日(日)に開催しました。

開催するのであればと聞きつけた地域の中川原連合町内会様より、ご祝儀をいただきましたことをお礼申し上げます。

第一部の開式のはじまりとして、大矢理事長と吉見輝子自治会長がテープカット(写真上)を行いました。続いて入居者表彰(入居10年以上)7名、職員表彰(勤続10年)1名の方に表彰状を授与させていただきました。(2面に続く)

# 展示を通して学ぶ 入居者の人生

入居者68名分の紹介をまとめて展示しました。その方の生い立ちや若いころのお話や写真を、ご家族やご友人にうかがって、編集しました。お話の中には、若くに親を亡くして妹の世話をされてきた話や、ご友人と団結して聞こえないひとの団体を結成して活動してこられた話など、今の様子からは想像もつかないような活躍や苦勞をされてきたことがわかり、職員も

大変勉強になりました。また、ご自分の展示を見ることで、自身の経験を回想し懐かしまじりを感じられたりでした。

面会制限のため、来訪者の方にお見せできないのが残念ですが、本紙に掲載している「ふくろう物語」や、自分史の本である「ふくろうまなびあい文庫」へと昇華させ、皆様のお目にかかることができたいと思います。

(生活援助員 川満和則)

## 屋台村で笑顔にほれる

屋台では、コロナウイルスの関係で限られた室内、職員だけで行う事になりましたが、「フランクフルト、焼肉丼、アイスクリーム、パインケーキ、から揚げ、焼きそば、お菓子販売」の7店舗を出せました。開店前から待たれて、開店と同時に食事チケットを握りしめて訪れる姿に、「お祭り」は特別なものだと感じました。

その事を実感した出来事に、から揚げが好きな柴野さんが訪れた



とき、「から揚げどうですか？」と尋ねたところ、「いらぬ」と話されました。好きなから揚げを買わないのは何故だろうか？と考えたとき、「あつ！今日は特別な日だ！普段食べている物じゃなく、普段食べていない物が食べたいのだ」と思いました。入居者の普段と違った表情や笑顔であったり、アイスクリーム、フランクフルトが先に売り切れた様子に、それが見て分かりました。

(生活援助員 魚崎恭行)

▲特別な時間を楽しむ長田さん

▼髭ダンサー(?)と八木さん



第二部では「舞台劇(ふれあい座)・手話歌」を当日リハーサルしても、いざ、本番になると会場の雰囲気に合わせてコロッと内容が変わり、限られた時間でしたが、入居者と一体となるのが感じられるまつりでした。



### ZOOMで学ぶ 認知症と食事の関係

#### 既に蓄積し始めている!! 認知症の原因物質

10月9日(金)淡路プロック給食関係職員研修会をオンライン上で受講しました。講師は徳島大学大学院の医学博士の山根一彦先生の話聞いて最初に驚いたのが、アルツハイマー病の要因となる、アミロイドβという物質が発症の25年も前から蓄積を始めるということです。

私が栄養の勉強を始めた時には、認知症の認知度は低く、タウタンパク質、アミロイドβという言葉を目にしたのも今が初めてでした。認知症の約70%がアルツハイマー型によるもので、65歳以上の3人に1人がMCI(軽度認知障害)の1歩手前で、30代の発症は1%、家族性であれば、子供は50%の発症率である。

しかし、講義を聞き進めるうちに、食べてはいけないものへの話になると、その場にいた全員がため息を漏らしたり、「うわあ」と口にし始めました。思い当たるものをほぼ毎日食べていることが判明したのです。水銀を含みやすい魚類(マグロ・カニなど)や、海藻などの鉄分を多く含むもの、また小麦、炭水化物の摂取が認知症を引き起こす原因になっていると最近の研究結果が出ています。食べ物ではありませんが、歯の詰め物が多いことも要因となります。

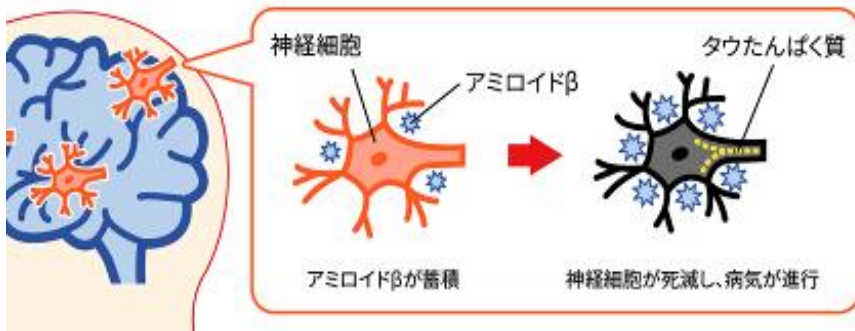
#### 理想の食事とは?

冷凍野菜、輸入食品、乳製品など、当施設ではコストの関係から使用している物もあり、避けられない問題であると思われました。栄養の観点からみれば、すべての食品をバランスよく食べることが望ましいとされているので、どうすればいいのか、頭を抱えました。のちに、ストレスになる食べ方もよくないというお

話もあり、高齢者であれば、好きなものを食べて楽しく食事をすることも大切なので、食生活を無理やり変える必要はないという結論に至りました。

#### 予防で発症を遅らせよう

認知症を25年先に発症するのか、10年先なのか、誰にも分かりません。



### 高齢者のための実践的口腔ケアを学ぶ

10月27日(火)太陽の家勤務の村上和美先生(地域活動歯科衛生士)をお招きして、高齢者施設口腔ケア講座をしていただきました。高齢者の多くは義歯に不具合があっても、我慢されているなどでそのままになっていることが多く、口腔内トラブルで食事が進まなくなることがある。日本人の実に80%が歯周病になっており、やわらかめの歯ブラシを使用すること。うがいをすると口の筋肉を使うので、咀嚼や嚥下にもいい影響がある。誰かと話をすることで唾液が分泌され抗菌効果もある。口腔ケアを嫌がられても温かいタオルで口の周りをケアして、回数を決めて少しずつ慣らしながらケアさせてもらえるようにする。といった、口腔ケアの重要性や実践方法をお話いただきました。受講した職員からは、「具体的でイメージが付きやすかった」「口腔ケアのための道具の種類や使い方を知ることが出来て勉強になった」などの声があがりました。



私個人の考えとしては、医学が今よりも進歩し、治療薬完成、認可され、劇的な変化の現れとともに治癒する未来がくるのではないかと期待している。無茶な食生活はせず、バランスのいい食事を摂るように気を付けていきたいです。

口腔ケアも認知予防につながるということなので、しっかりと行っていく、少しでも予防していきけるよう生活していきたいです。貴重なお話を聞けたことは大変いい経験になりました。コロナ禍のいまだからこそできる新しい形。またこのような機会があれば参加させていただけたいです。(栄養調理係 山本藍菜)

**淡路聴覚障害者  
センター** 便り

洲本市港 2-26  
洲本市健康福祉館 3階

### 配慮のある職場

#### 長く働きたい

柏木 まゆみさん

柏木さん(55歳)は徳島県で生まれました。徳島ろう学校専攻科を卒業後、26歳の時淡路のろう男性と結婚され、お二人の子供に恵まれました。結婚後、淡路市内の電気関係の会社に10年間勤めていましたが出産・退職しました。その後、次男が小学校入学したのを機に平成19年から線香の製造工場(株)孔官堂淡路工場にパートとして就職され、仕事ぶりが認められ、1年後からは正社員となりました。

今回、会社に取材を申し込むと快諾いただき、朝礼時に

## ろう者の働きが職場の理解を広げる

一緒に働いている人が筆談で細かく説明してくれ、納得



▶ 工程の一つ、箱詰め作業中

ケガをする恐れがあり慣れるまで苦労しました。また突然機械が壊れたり動かなくなったりすることがよくありました。「困っていた時に

一緒に働いている人が筆談で細かく説明してくれ、納得

全員に周知し、取材しやすいように配慮を指示するなどとても協力的な会社でした。

#### ■会社一丸となり ろう者への配慮・工夫を

機械を操作しながらの作業のため入社したばかりの頃は、間違った操作をする

することができた」と話す柏木さん。その筆談をしてくれたのが柏木さんが入社した頃から手話奉仕員養成講座を受講、手話サークルに入会された亀井美香さんです。同時期、会社では、柏木さんとコミュニケーションをとろうと3名の方が講習会を受講してくれました。また、会社としても機械の音を光で知らせてくれるパトライトを設置したり、工場の月例会には国の制度を利用し、手話通訳派遣を依頼。柏木さんは会議の内容を手話通訳を通して知ることができず。また月例会を利用し、柏木さんの指導で社員に手話を覚えてもらう配慮がされています。

職場での交流から多くの学びを  
社会的な柏木さんは、お昼の休憩の時も同僚と話したり、社員旅行にも必ず参加しています。

職場では仕事の細かい説明などは亀井さんを通して聞くことも多いのですが、他の方とも身振りなどでコミュニケーションをとりながら仕事をしています。



▲職員の亀井さんに手話で相談する柏木さん

様々なことを学べ、とても嬉しい。次男が少年野球をしていた3年間が仕事と家庭の両立で一番大変な時期だった。子供たちも社会人と大学生で手が離れたので、これからはもっと仕事に励み、社会に対してろう者への理解を広げ、働きやすい社会を作りたい」と力強く話されました。

### 聞こえないことへの理解深める 要約筆記啓発講座

10月3日、17日に要約筆記啓発講座を開催しました。台風の影響で3回の予定が2回の開催となりました。ひょうご要約筆記講師の会の柳瀬氏による「耳の仕組み」など分かりやすく説明いただき、また実

際に難聴体験をするなどし、「聞こえないことへの理解が深まった」「なんとなく知っていたつもりだったことが腑に落ちた」、「要約筆記という技術も大事だが、どういう気持ちで対応するかが大事であることが理解できた」、との参加者の感想がありました。



▲耳の仕組みや補聴器体験、難聴者の体験談など盛りだくさんな内容の講座



### 中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター



兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2  
☎656-0002  
TEL 0799-28-0990  
FAX 0799-28-0992

#### 手芸講座 「秋らしい綺麗なリース」

10月26日(月)、毎月1回行われている手芸講座が開かれました。講師の先生が準備下さった台紙に、赤や黄色の紅葉やイチ



ヨウを利用者さんが、ご自身で工夫しながら貼り付けて、秋らしい綺麗なリースが出来上がりました。コロナ禍で、外出や大勢の方々にお越しいただく演奏会などの企画は、なかなかしにくいですが、みなさんが楽しみにしておられる講座、続けていきたいと思えます。

(デイサービス 竹内)

#### 「早く元気になってね」 と心を込めて

週2回、通所されていたMさんが8月に病気がわかり、9月中旬から治療のため、入院となりました。

1人、遠く離れて、心細い思いをしている彼女のために、みんなで千羽鶴を折りました。毎日、昼食後、休けい時に折りました。初めて折る人、とても器用に上手に折る人。各々ですが、みんな心を込めて折りました。色とりどりに糸に通して仕上げました。面会には行けないので、手話通訳の人に頼んで持って行ってもらいます。



これを見てMさんも治療に頑張ってくれて早く元気になってまた笑顔で通所してくれることを願っています。

(支援員 藤本)

「Mさんからのメッセージ」  
おのころの家の皆さん千羽鶴折ってくれて有難うございました。頑張つて病気を治します。

### 早くコロナ禍が終息したら、 再びイベントが開催したいな！

利用者さんは現在3名ですが、みんな休むことなく通所しています。今年に入り新型コロナウイルス感染症のため、島内外すべてのイベントが中止になってしまいましたが、店舗は緊急事態宣言発出中でも営業を続けました。利用者さんはそれぞれパン、焼菓子の製造、接客など行っています。又、昨年度からの新事業である、洲本市役所からのふるさと納税返礼品(クッキーの詰め合わせ、パウンドケーキの詰め合わせ)の注文を今年度も引き続き全国各地からたくさん頂いています。利用者さんが主体となってクッキー、パウンドケーキを製造し、発送を行っています。(支援員 山田)



クッキーラベル貼り作業

新型コロナウイルスの影響に関する生産活動・利用者工賃について大きな問題は2つがあります。

- ・作業収入の回復
- ・賃金・工賃の減収

当所の利用者会議で8月～9月の状況から売上は上がらずには、皆さんの給料に大きく響くと、工賃の試算を修正するか今後、皆さんと一緒に苦境にとりくみたいのです。

**第4回ふくろうの杜 子ども企画  
聞こえない・聞こえにくい子どもたちと  
保護者の交流会**

日時：令和2年11月22日（日）  
午後2時～4時（受付1時半）  
場所：神戸市障害者福祉センター  
体育室  
内容：「身体を動かそう！  
風船バレー！」  
対象児童：小学生～高校生まで  
◎動きやすい服装でご参加ください。  
◎水分が十分に補給できるよう水筒  
等の準備をお願いします。

<お問い合わせ・申し込み>  
TEL/FAX：078-579-0755  
Email: kodomo.fukurou@gmail.com  
担当：児童デイ 山本芙由美

た。（児童デイ 山本芙由美）  
保護者の期待高まる  
放課後デイサービス  
神戸長田ふくろうの杜放  
課後デイサービス「ふくろう  
っこ」第3回子ども企画を  
10月25日（日）に開催しま  
した。小学生4名と聞こえ  
る兄弟3名、保護者5名、  
職員やボランティア合わせ  
て18名でトイレットペーパ  
ーの芯で動物に変身させ、ポ  
ーリング大会を楽しみまし



保護者の期待高まる

〒652-0897  
兵庫県神戸市兵庫区駅南通5-4 西高架下16号  
TEL & FAX : 078-579-0755

**神戸事業所**  
共同作業所 神戸ろうあハウス  
神戸ろうあハウス デイサービスセンター

みんな違って  
みんないい！  
一人一人が  
輝いています

JR 新長田駅、神戸市営地下鉄  
新長田駅より北東に歩いて3分。  
淡路信用金庫を「目じるし」  
にお越しください。



**開所式**

令和2年11月21日（土）  
午前10時より（約1時間）  
\*開所式の後、順次見学していただき  
ます。  
◎時節柄、マスクの装着をお願いします。  
◎消毒の用意などもしております。  
\*駐車場の用意はございません。  
お近くのコインパーキングをご  
利用ください

**見学会**

・11/20（金）午前11時～午後4時  
・11/21（土）午後1時～午後4時  
**問合せ**  
14日まで Tel&Fax 078-579-0755  
15日以降 Fax 078-798-7941  
Tel 078-798-7940

**11月・12月ふくろうの暮らし**

- 11/20（金）書道講座
- 11/27（金）回想法・料理講座
- 12/ 1（火）誕生会・演劇講座
- 12/ 4（金）おのころパン販売
- 12/ 7（月）ふくろう理髪店
- 12/15（火）おのころパン販売

**神戸施設建設募金  
目標 1 億円 !!**

2020.11.1 現在 募金合計額 **89,146,160 円**  
(プレート募金 290人)  
目標1億円まで、あと **10,853,840 円**

